

むつ市新体育館 基本設計・実施設計
わーくしょっふ通信

平成28年11月発行

vol. 1

主催：むつ市民生部 市民スポーツ課 協力：山下設計 東北支社 / 仙台高専 坂口研究室
〒035-8686 青森県むつ市中央1丁目8番1号 (TEL) 0175-22-1111

第1回 むつ市新体育館市民ワークショップを開催しました！



平成28年11月12日（土）10:00～12:00に、むつ市中央公民館において、基本設計・実施設計第1回市民ワークショップを開催しました。各スポーツ協会の方々を中心とし、16名の方にご参加頂きました。全5回を予定しているワークショップの第1回では、基本計画の概要をふまえ、多目的な利用を考えたプランニングへの意見が集まりました。また、1年間の利用イメージをつくるために、日常的な利用や屋内競技以外の地域イベントなどの具体的な使い方に関する意見を頂きました。

今後の予定

第2回

「新しい体育館に中学校・高校生の居場所を考えてみよう」

2016年12月10日（土）

(午前の部) 10:00～12:00 田名部中学校
(午後の部) 13:30～15:30 田名部高等学校

第3回

「基本設計まとめ」

2017年1月21日または22日
10:00～12:00 むつ市役所

<市民ワークショップの目的>

耐震診断の結果から閉鎖となった、むつ市民体育館の代わりとなる「むつ市新体育館」の基本構想・基本計画の策定が終わり、現在、基本設計・実施設計の策定が行われています。むつ市は今後4回に分けてワークショップを行い、スポーツ団体や中高生に頂いた意見をもとに新しい体育館づくりをしていきます。

<当日の様子>

今回の第1回のワークショップではA・B・Cの3つのグループに分かれ、図面と模型を用いながら意見交換を行って頂きました。機能の側面だけに留まらず、日常的な体育館の使い方をイメージしながら検討を行うことができました。最後はグループ毎の意見を共有し、全体のまとめを行いました。



1/100の模型を用いて、お祭りなどの多目的な使い方を検討しました。

<第1回 市民ワークショップの意見>

A グループ

- 飲食店があると、人が集まるきっかけになる
- 器具庫の間口を広くし、道具の出し入れをスムーズにしたい
- 大会時は通路に荷物が置かれてしまったため通路幅を広くしたい
- 観客席を増やしてほしい
- 新体育館周辺で、生ビールの販売やフリーマーケットをしたい
- 海が見える体育館でイベントを開催することで若者を集めたい



B グループ

- 撤入口を広くしてほしい
- 土足と上靴の使い分けをどうするか
- 球が見えにくくならない天井・壁・照明の色にして欲しい
- 監督会議に使えるミーティングスペースが欲しい
- 仮設ステージを設けることで外部と内部でイベントを行える
- 健康診断の会場として使えるのではないか



C グループ

- 近くに合宿施設を誘致し、体育館と合わせて計画をする
- 全国大会の開催を視野に入れた規模のアリーナが欲しい
- ランニングコースと連携して、シャワールームがあるとよい
- 屋外に屋根がかかる場所が広いと、雨天時や積雪時に便利
- 冷暖房機能が欲しい
- 体育祭への貸出、たちねぶたのイベントを行えるのではないか



わーくしょっぷ通信

vol. 2

主催：むつ市民生部 市民スポーツ課

協力：山下設計 東北支社 / 仙台高専 坂口研究室

〒035-8686 青森県むつ市中央1丁目8番1号

(TEL) 0175-22-1111

第2回 むつ市新体育館市民ワークショップを開催しました！



平成28年12月10日（土）10:00～12:00に田名部中学校、13:30～15:30に田名部高等学校において、基本設計・実施設計第2回市民ワークショップを開催しました。中学生22名、高校生25名、合計47名の方にご参加頂きました。全5回を予定しているワークショップの第2回では、基本計画の概要を踏まえ、多目的な利用を考えたプランニングへの意見が集まりました。また、1年間の利用イメージをつくるため、日常的な利用や屋内競技以外の地域イベントなどの具体的な使い方に関する意見を頂きました。

<今後の予定>

第3回

2017年1月21日（土）10:00～12:00

場所：むつ市役所

対象者：むつ市民

テーマ：むつ市の新体育館がつくりだすもの（仮）

<市民ワークショップの目的>

耐震診断の結果から閉鎖となった、むつ市民体育館の代わりとなる「むつ市新体育館」の基本構想・基本計画の策定が終わり、現在、基本設計・実施設計の策定が行われています。むつ市では、残り3回のワークショップを行い、スポーツ団体や中高生に頂いた意見をもとに新しい体育館づくりを行います。

<ワークショップの概要>

今回の第2回のワークショップでは、A・B・Cの3つのグループに分かれ、新体育館の図面を見たり、テーブルやイス等の家具模型を実際の模型に配置したりしながら、新体育館に求める機能や日常的な体育館の使い方を検討し、3年後の完成を目指す体育館のイメージを掴みました。また、ワークショップ後半には、各グループの学生代表が仙台高専のファシリテーターと一緒に、自分たちのグループの意見を発表しました。



1／100の模型を用いて、お祭りなどの多目的な使い方を検討しました。

<第2回 市民ワークショップの意見 中学生編>

Aグループ

- ・アリーナの近くにトイレを設置してほしい。
- ・観客席下のスペースを広くして、大きな荷物が置けるといい。
- ・アナログの大ざな時計をアリーナの左右に2つ設置してほしい。
- ・下駄箱を大きなものにしてほしい。
- ・玄関を広くして、靴の履き替えをスムーズにしてほしい。
- ・冷暖房を完備してほしい。



Bグループ

- ・アリーナの床を柔らかい材質にしてほしい。
- ・両親の迎えを待つことができる場所がほしい。
- ・自販機の台数を増加してほしい。
- ・学習スペースがほしい。
- ・自転車置き場に屋根を設置してほしい。
- ・館内をバリアフリー化してほしい。



Cグループ

- ・観客席は外靴がいい。
- ・自販機の前には、椅子を設置してほしい。
- ・複数人や1人で勉強できる場所がほしい。
- ・外に屋根のついたバスケットボールのコートがほしい。
- ・通路幅の広いギャラリーがいい。
- ・シューズを履いたまま、屋外に行ける場所がほしい。



<第2回 市民ワークショップの意見 高校生編>

Aグループ

- ・球技のウォーミングアップが出来る場所がほしい。
- ・可動式のバスケットボールのゴールがほしい。
- ・様々なところにスピーカーを設置してほしい。
- ・得点板を2階にも設置してほしい。
- ・電光掲示板を設置してほしい。
- ・隣り合う椅子の間隔を広くしてほしい。



Bグループ

- ・試合の様子を撮影出来るスペースがほしい。
- ・天井や壁の色を白以外の色にしてほしい。
- ・多目的室をウォーミングアップが出来る場所にする。
- ・夜間でも体育館を使用したい。
- ・サブアリーナに観客席がほしい。
- ・2階にも自販機を設置してほしい。



Cグループ

- ・アリーナの出入口となる開口部を広くしてほしい。
- ・試合に出場する選手の待機場所がほしい。
- ・家具がなくてもいいので、ミーティングできる空間がほしい。
- ・スポーツラウンジに、幅が広く、長い椅子を設置してほしい。
- ・試合をLIVE中継できる大型モニターと観覧席を設置してほしい。
- ・トイレを2階にも設置してほしい。



<田名部高等学校の部活動の意見>

▶バドミントン部からの要望

- ・天井高さは12m以上にする。
- ・コートの外側4面に2m以上のスペースが必要である。
- ・2面以上のコートを設ける場合でも、隣接するコートの間隔は2m以上にする。
- ・照明は各コート中央上縁において1200lx以上にする。
- ・照明はコートの真上では遮光されていなければならぬ。
- ・空気調節装置使用により生じる気流は、極力避ける。
- ・観客席は会場が見渡せ、多くの人が入れるような規格がいい。
- ・サブアリーナもメインアリーナと同じ条件であることが望ましい。また、観客が観戦できるスペースが取れるといい。
- ・メインアリーナに8面、サブアリーナに2面あると理想的である。
- ・カーテンの開け閉めは自動だといい。
- ・シャトルが当たる可能性をなくすため、バスケットゴールは据え付けでなく、移動式のものがいい。
- ・ラインが他の競技のラインとかぶらないようにしてほしい。
- ・支柱とネットは高さが調整しやすいものがいい。
- ・床面は滑りすぎず、フレーキがかかりすぎないものがいい。
- ・更衣室のロッカーはコインが戻ってくるタイプがいい。
- ・有料でもいいので、シャワーを利用できるようにしてほしい。
- ・洋式トイレの数を増やしてほしい。

▶バレーボール部からの要望

- ・コートのラインは赤がいい。
- ・天井までの高さを15m以上にする。
- ・各コートの周りを5m以上確保し、ボールが拾いややすくウォーミングアップの場所を確保する。
- ・体育館の出入り口を横3m、高さ2m以上にする。
- ・全ての窓・扉に暗幕を設置してほしい。
(自動なら、なお良し。)
- ・ボールを追いかけても躊躇しないように、照明にはカバーを付けてほしい。

▶卓球部からの要望

- ・暖房が欲しい。
- ・座席のあるギャラリーがいい。
- ・ギャラリーをウォーミングアップの時に1周走れるようにしてほしい。
- ・暗幕がほしい。

<ワークショップの当日の様子>



わーくしょっふ通信

vol. 3

主催：むつ市民生部 市民スポーツ課

協力：山下設計 東北支社 / 仙台高専 坂口研究室

〒035-8686 青森県むつ市中央1丁目8番1号

(TEL) 0175-22-1111

第3回 むつ市新体育館市民ワークショップを開催しました！



平成29年1月21日（土）10：00～12：00にむつ市役所において、基本設計・実施設計第3回市民ワークショップを開催しました。15名の方にご参加頂きました。全5回を予定しているワークショップの第3回では、これまでのワークショップで集まつた意見を踏まえ、オープンスペース（スポーツラウンジ、コミュニケーションラウンジ、ミーティングラウンジ）の使い方を検討しました。日常や各種スポーツ大会、イベントなどの各場面を想定し、オープンスペースの様々な利用方法について意見を交わしました。

<今後の予定>

第4回

2017年6月 予定
場所：むつ市役所
対象者：屋内競技団体及び観光関係
テーマ：新体育館を使いこなす（仮）

<市民ワークショップの目的>

耐震診断の結果から閉鎖となった、むつ市民体育館の代わりとなる「むつ市新体育館」の基本構想・基本計画の策定が終わり、現在、基本設計・実施設計の策定が行われています。むつ市は今後も数回のワークショップを行い、スポーツ団体や中高生に頂いた意見をもとに新しい体育館づくりをしていきます。

<当日の様子>

今回の第3回のワークショップではA・B・Cの3つのグループに分かれ、図面と模型を用いながら意見交換を行って頂きました。選手や市民の方が交流するラウンジを中心に、日常的な体育館の使い方や大会時などの様々な状況をイメージしながら検討を行うことができました。ワークショップの最後には各グループから出てきた意見をファシリテーターが整理し、発表しました。



1/50の模型を用いて、オープンスペースの使い方を検討しました。

<第3回 市民ワークショップの意見>

Aグループ

- ・湯沸室を日常的に利用できる配置にしてほしい。
- ・上靴と土足の履き替えを明確にしてほしい。
- ・靴の履き替えをフロアの色で区別してほしい。
- ・北側の屋外に弓道の練習ができる場所と備品庫を設けてほしい。
- ・競技ごとに器具庫を分割して容易に備品を出し入れしたい。
- ・ラウンジは土足で入れるようにしてほしい。



Bグループ

- ・PCを使える環境がラウンジにほしい。
- ・ラウンジの一画を展示スペースにしたい。
- ・ラウンジに可動式の椅子を置いたら方がいい。
- ・2階のラウンジに給湯室がほしい。
- ・洗濯機を設置してほしい。
- ・遠方から訪れた人のために弁当屋を設けた方がいい。



Cグループ

- ・選手に配慮したセキュリティを整えてほしい。
- ・ラウンジにカウンターがあると飲食しやすい。
- ・会議室前の壁面を賞状の展示などに使えるといい。
- ・ラウンジにモニターを設置して試合を観戦したい。
- ・床のデザインを模倣した方がいい。
- ・ラウンジの壁をクライミングウォールにしてほしい。

